

研修等 報告書

2022年 7月 25日

三田市議会議長 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	公明党	代表者	松岡信生
		議員名	福田佳則
参加者氏名	福田佳則		
講演会等研修名	令和4年度市町村議会議員研修 [2日間コース]		
研修事項	「第2回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」		
日 時	2022年 7月 20日(水)～ 2022年 7月 21日(木)		
場 所	全国市町村国際文化研究所 (JIAM)		
研修の概要 及び所見 (別紙でも可)	<p>自治体における決算の基本について学び、今後に活かすために参加しました。講義内容では、実務経験豊富な講師による説明により、自治体決算の基本や全国の自治体での実例を知ることができました。『自治体決算の基本と実践』では「実質収支比率」「実質公債費率」において決算カード(三田市)での比較をすることで、現状確認の参考となりました。『行政評価を活用した決算審査』では、行政評価の基本、政策評価導入等を学び、「藤枝市」の実例をもとに説明がありました。小グループ(4名)に分かれての討議も設けられ各市町での現状・課題について活発な意見が交わされました。同グループとなった他の議員からは、本市における予算審議において「附属資料」をもとに細部にわたって議員から質問するやり方に関心を持たれました。</p> <p>研修を通し基本から学べたことは大変有益であったと実感しました。今後の予算審議に活用して参ります。</p> <p style="text-align: right;">福田佳則</p>		
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・受講証明書 ・開講オリエンテーション資料 ・研修資料(7/20)(7/21) 		

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。


個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

研修等 報告書

2022年 8月 1日

三田市議会議長 北本節代 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	公明党	代表者	松岡信生
		議員名	福田佳則
参加者氏名	福田佳則 松岡信生		
講演会等研修名	令和4年度市町村議員研修〔2日間コース〕		
研修事項	第2回「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」		
日 時	2022年 7月 20日(水曜)～ 2022年 7月 21日(木曜)		
場 所	全国市町村国際文化研修所 (JIAM)		
所 見	別紙参照 		
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ 		

6 添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

令和4年度市町村議会議員研修 [2日間コース]

JIAM 全国市町村国際文化研究所

7月20日(水)～7月22日(木)

「第2回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

1日目：7月20日(水)

【自治体決算の基本と実践】 講師：武庫川女子大学教授 金崎健太郎氏

○地方自治体と民間企業の会計について

作成目的＝住民の福祉増進と利益追求

報告主体＝首長と株主

説明責任＝議会の承認・認定と株主総会の承認

簿記方式＝単式簿記と複式簿記

認識基準＝現金主義会計と発生主義会計 などの違いについて

○自治体決算とは

① 歳入予算に対する出納の実績、歳出予算の適正な執行及びその成果を調査

② 次年度予算の執行の際の指針

○決算関係書類の位置づけと説明

決算書、歳入歳出事項明細書、実質収支に関する調書、証書類、監査委員の意見書、主要な施策の成果を説明する書類（自治体により資料が異なる）

○決算を用いた財政診断（語句説明含む）

財政診断に活用できる資料＝それぞれの市町村で公表と総務省による公表
普通会計について

実質収支＝歳入と歳出の収支は合っているか～

実質収支比率、単年度収支・実質単年度収支、財政力指数、経常収支比率、健全化判断比率、実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率

○決算をチェック

令和2年度西宮市決算（参考資料）

2日目：7月21日（木）

【行政評価を活用した決算審査】 講師：静岡県立大学教授 小西 敦氏

○行政評価の基本

地方自治体の行政評価を規定する国法は存在しない

評価主体＝自己評価・外部評価⇒議会の位置づけがポイント

法的根拠＝条例・条例以外

目的＝説明責任の徹底、質の向上、成果重視への転換

レベル＝事務事業・施策・政策

観点＝必要性・効率性・有効性

密接関連事項＝地方創生・EBPM

行政評価の目的規定、評価主体、議会の位置づけ、「政策評価の在り方、政策評価導入の目的、政策評価の観点、地方創生推進交付金事業における KPI、EBPM などの説明

〔所見〕

この度の研修には1期目の福田佳則議員と共に参加した。私自身は6期目であることから一緒に参加することで、私自身の決算審査に対する認識の検証と確認、それと新しい知識の吸収。そして、此れからの人材である福田議員には基本知識の醸成という観点も含んでいた。私自身これまで、決算審査関する専門家の先生の講義を受けたこともなく、基数の浅い時代には分からない事柄はその都度職員に聞き自分なりの理解に心掛けた。この度、この研修会に参加し、初日の「自治体決算の基本と実践」については、これ迄余り着眼してこなかった見方も知ることができ今後の審査に生かせると感じる。また二日目の「行政評価を活用した決算審査」では、本市は行政評価を決算審査に繋げることはせず、総合計画のPDCAサイクルをスムーズに進めるために活用している。これらの事から、今回の研修に示された行政評価を決算審査に反映し、そしてその課題を次年度の予算に反映することの取り組みの必要性を感じる。そしてこれらの取り組みは、参加された議会の一部でも取り入れられており大いに参考となった。今後本市の議会に於いても決算～予算審査につなげる仕組みづくりについて調査研究の必要性を感じるとともに今回の研修会に参加して、更なる議会改革の取り組みに繋がる意義ある研修会であった。

文責：松岡信生

2022年7月20日
JIAM 市町村議会議員研修

自治体決算の基本と実践

JIAM客員教授・武庫川女子大学教授 金崎 健太郎

全国市町村国際文化研修所 令和4年度市町村議会議員研修



「自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～」

2022年7月21日

9:25～15:00

静岡県立大学経営情報学部
小西 敦(意見等私見)

1 講義
制度

5 講義
まとめ

2 講義
現状

4 発表
・講評

3 討議
・演習

講義・演習